

2026年3月1日

入学試験問題

世界史

問3 空欄㉓に入る数字として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

3

- ① 10 ② 20 ③ 30 ④ 40

問4 下線部㉔に関する説明として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① 人種間の優劣があると考えることには科学的根拠はない。
② 現生人類はホモ＝サピエンスただ一種に属している。
③ アジア人はコーカソイドに分類される。
④ この基準で分ける考え方は欧米で盛んになった。

問5 下線部㉕について，英語が含まれる系統として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① ウラル語族 ② インド＝ヨーロッパ語族
③ アルタイ語族 ④ アメリカ諸語

問10 下線部①に関する事柄として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。 20

- ① サファヴィー朝の最盛期を現出させた王である。
- ② 首都をタブリーズに遷都した。
- ③ 王直属の騎馬軍団を創設した。
- ④ オスマン帝国から一時的にイラクを奪い返した。

Ⅲ 中世ヨーロッパに関する以下の問い（問1～問10）に答えなさい。

21 ～ 30

問1 1095年にクレルモン宗教会議を招集した教皇として最も適当なものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① インノケンティウス3世 ② ウルバヌス2世
③ クレメンス3世 ④ グレゴリウス8世

問2 ラテン帝国を建てた十字軍として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① 第1回十字軍 ② 第2回十字軍 ③ 第3回十字軍 ④ 第4回十字軍

問3 東方貿易（レヴァント貿易）で発展し、「アドリア海の女王」と呼ばれたイタリアの都市として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

23

- ① ヴェネツィア ② ジェノヴァ ③ ピサ ④ ナポリ

問4 ハンザ同盟の盟主としてバルト海貿易で繁栄したドイツの都市を、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① ハンブルク ② ブレーメン ③ リューベック ④ マクデブルク

問5 「タタールのくびき」と呼ばれたモンゴル国家の支配から、1480年に独立を果たした国として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

25

- ① ノヴゴロド国 ② モスクワ大公国
③ キエフ公国 ④ ワラキア公国

IV 世界史に関わる資料に基づいた、以下の問い（問1～問5）に答えなさい。

31 ~ 35

すべての交戦諸民族とその政府に対して、公正で民主的な講和についての交渉を即時に開始することを提議する。……政府がこのような講和とみなしているのは、無併合、無賠償の即時の講和である。……

政府が併合または他国の土地の略奪と理解しているのは、……弱小民族が同意または希望を正確に、明白に、自由意志で表明していないのに、強大な国家が弱小民族を統合することである。その際、その強制的な統合がいつおこなわれたか、また、強制的に統合される、あるいは

は強国の領域内に強制的にひきとめられる民族がどれだけ発展しているか遅れているかにはかかわりない。さらに、その民族がヨーロッパに住んでいるか、遠い海外諸国に住んでいるかにもかかわりない。……

政府は秘密外交を廃止し、自ら全ての交渉を全人民の前で、完全に公然とおこなう確固たる意向を表明し、1917年2月から10月25日までに地主と資本家の政府によって確認または締結された秘密条約の、完全な公開にただちに着手する。
(歴史学研究会編『世界史史料10』)

資料1

問1 資料1の布告を出した政府として正しいものを、次の①～④のうちから一つ

選べ。 31

- ① アメリカ ② ロシア ③ イギリス ④ 日本

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. 秘密外交の廃止 | 9. イタリア国境の再調整 |
| 2. 海洋の自由 | 10. オーストリア＝ハンガリー帝国における民族自治 |
| 3. 関税障壁の廃止 | 11. バルカン諸国の独立 |
| 4. 軍備の縮小 | 12. オスマン帝国支配下の諸民族の自治 |
| 5. 植民地問題の公正な解決 | 13. ポーランドの独立 |
| 6. ロシアの完全独立とロシアからの撤兵 | 14. 国際平和機構の設立 |
| 7. ベルギーの主権回復 | |
| 8. アルザス・ロレーヌのフランスへの返還 | |

資料2

問2 資料2に関する説明として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

32

- ① 第一次世界大戦の講和のための原則だった。
- ② イギリスやフランスの抵抗で一部しか実現しなかった。
- ③ パリ条約に大きな影響を与えた。
- ④ アジア・アフリカの植民地の独立運動に刺激を与えた。

この一年来、いろいろと考え調べた結果、私は、今日、文学の革命を唱えようとするれば、次の八項から着手する必要があると思います。それは、
 一、典故を用いない。
 二、常套語を用いない。
 三、対句を使わない(文章では駢文^①を、詩では律詩を廃止すべきである)。
 四、俗字俗語を避けない(口語で詩作することも排さない)。
 五、文法構造を追求しなければならない。

以上はいずれも形式上の革命です。
 六、悩みもないのに深刻ぶらない。
 七、古人を模倣せず、一語一語に個性がなければならぬ。
 八、言葉に中身がなければならない。
 以上はいずれも精神上的革命です。
 ①四六駢體のこと。
 (坂元ひろ子責任編集『新編 原典中国近代思想史4』)

資料3

問3 資料3を出した人物として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

33

- ① 陳独秀
- ② 魯迅
- ③ 胡適
- ④ 孫文

- (1) イギリスは一定の修正①を加えて、メッカのシャリーフ〔フセイン〕によって要求されている範囲内すべての地域におけるアラブ人の独立を認め、それを支援する用意がある。
- (2) イギリスは外国からのすべての侵略に対して聖地②を保全し、その不可侵性^{ふかしん}を承認する。
- ①地中海岸の一部の地域はアラブ独立国家から除外されるという修正。②イエールサレムのこと。
(歴史学研究会編『世界史史料10』)

資料4

問4 資料4に関する説明として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選

べ。 34

- ① サウジアラビア王国とイギリスの間での協定であった。
- ② オスマン帝国への反乱を条件にアラブ国家の独立が認められた。
- ③ 第一次世界大戦における戦争協力が約束された。
- ④ サイクス・ピコ協定と矛盾し、中東問題の素地をつくった。

国王陛下の政府はパレスチナにおいてユダヤ人のための民族的郷土 (National Home) を設立することを好ましいと考えており、この目的の達成を円滑にするために最善の努力をおこなうつもりです。また、パレスチナに現存する非ユダヤ人諸コミュニティの市民および信仰者としての諸権利、ならびにほかのあらゆる国でユダヤ人が享受^{きょうじゆ}している諸権利および政治的地位が侵害されることは決してなされることはない^{こと}と明確に理解されています。(歴史学研究会編『世界史史料10』)

資料5

問5 資料5に関する説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

35

- ① 当時、ドイツでの迫害を逃れたユダヤ人はパレスチナに移住していた。
- ② 第一次世界大戦後、パレスチナはイギリス・フランスが共同統治した。
- ③ イギリスがユダヤ資本の財政協力を期待して表明した宣言であった。
- ④ ユダヤ人とイギリス人の対立であるパレスチナ問題へと発展した。